



ネズミサシが伐採されました

「川路のネズミサシ」は、去る7月31日～8月2日の3日間で伐採作業が行われました。

「川路のネズミサシ」は、川路7区にあり、推定樹齢1,000年以上とされ、昭和43年に長野県の天然記念物に指定されていました。また、地元7区では秋葉神社、津島様のご神木として長年大切にされてきました。

しかし、昨年10月、樹勢について外部診断に加え、最新の診断機器による診断を行ったところ、地面に近い幹の部分で、腐朽空洞率が60%以上であることが判明しました。

葉は緑で青々としておりますが、樹木医、県教育委員会、信州大学井田教授（県文化財保護審議委員）他の専門家にも現地を見てもらいましたが、樹勢回復は見込めないことがわかりました。また、昨今は生きた木の倒木被害が全国各地で発生しているようです。

7区役員及び11組合の皆様、お天王様総代、川路歴史文化セミナー等の皆様から、何とか切らずに残す方法がないかとの要望を受け、市に検討してもらいましたが、用地が少なく対策のしようがないことから止む無く伐採をすることとなりました。

実際に切った切り口を見ると、幹の上の方まで空洞化しており、幹下部は外側の皮の部分のみよく、そこでかろうじて水を吸い上げており、幹の内側はほとんど死んだ状態となっております。

伐採したネズミサシの枝や幹は、以下の場所で仮保管をしておりますが、置いてある物はすべて活用を検討しております。くれぐれも枝や幹等を勝手に持ち出すことはしないようお願いいたします。

※伐採木の仮置き場(●印)：28m道路を挟んで、ちさと東の向かい側



伐採後の活用方法の検討について

伐採されたネズミサシを今後どう活用するか、今後早急に活用のための検討会を開くなどして検討をしていくことが必要となります。モニュメントとして現地に残したり、木材として活用し、新たに後世に残るものを考えて作るなど様々な活用方法があると考えられます。川路の財産として、後世に伝えていけるよう、皆さんでアイデアを出し合って検討し、決めていきたいと考えております。

今から、各自お考えいただき、アイデアをお寄せください。

ネズミサシの写真を募集

飯田市文化財保護活用課では、現地での看板の設置等を検討しており、それらに利用できるよう、川路のネズミサシの現存する一番古い写真と新しい写真を募集しています。「これは古い写真ではないか(白黒写真可)」と思われる写真や、比較的新しい自慢のネズミサシの写真(電子データ含む)をお持ちの方は、是非、川路自治振興センターまでお持ちいただくか、ご連絡ください。

TEL：27-2001

募集期限：12月28日(木)